

平成28年度 まちづくり月間関連4行事受賞者等について

1. 第11回 まち交大賞
2. 第33回 まちづくり標語懸賞募集
3. 第11回 住まいのまちなみコンクール
4. 第18回 まちの活性化・都市デザイン競技

<問い合わせ先>

【まち交大賞】

まちづくり情報交流協議会 事務局（一財）都市みらい推進機構 TEL 03-5261-5625
<http://www.machikou-net.org/>

【まちづくり標語懸賞募集】

（公財）都市計画協会 TEL 03-3262-3491

【住まいのまちなみコンクール】

（一財）住宅生産振興財団内 住まいのまちなみコンクール事務局 TEL 03-5733-6733
<http://www.machinami.or.jp>

【まちの活性化・都市デザイン競技】

（公財）都市づくりパブリックデザインセンター TEL 03-6912-0799
<http://www.udc.or.jp/activities/design/>

第11回まち交大賞

1. まち交大賞について

まち交大賞は、都市再生整備計画に基づくまちづくりにおいて、優良な計画が策定され、また事業の実施、評価、改善において優れた取り組みを行った地区などを対象として表彰し、関係者の栄誉をたたえるとともに、受賞地区の事例を全国に幅広く紹介することで、地域の創意工夫を活かしたまちづくりを促進することを目的として実施するものである。

2. 主催・後援

主催：まちづくり情報交流協議会、(一財)都市みらい推進機構

後援：国土交通省

3. 実施方法

全国の市区町村から応募のあった地区の中から、受賞地区を選定する。

【対象地区】

I. 完了地区

平成26年度までに都市再生整備計画事業が完了した地区

II. 計画地区

平成27年度において都市再生整備計画事業を実施中の地区

【審査委員会】平成28年2月22日(月)

委員長 高橋洋二 東京海洋大学名誉教授

【表彰】平成28年6月10日(金) (まちづくりと景観を考える全国大会) 等

4. 表彰

I. 完了地区

①まち交大賞(国土交通大臣賞 1地区)

地域の創意工夫を活かしたまちづくりの取り組みがなされ、都市再生整備計画の策定、事業の実施、事業の評価等において優れた地区で、全国の都市・地域再生のモデルとして特に優秀な地区

②まちづくり達成大賞(まちづくり情報交流協議会会長賞 1地区)

まち交大賞地区に次いで、上記の観点から優秀な地区

③まちづくり効果賞(2地区程度)(今回は3地区)

地域の創意工夫を活かしたまちづくりの取り組みがなされ、都市再生整備計画の策定、事業の実施、事業の評価等において特徴があり、優れた地区

II. 計画地区

①創意工夫大賞(都市みらい推進機構理事長賞 1地区)

都市再生整備計画において、テーマの設定、まちづくりのアイデア、計画策定のプロセスの3つの観点から特に優秀な地区

②まちづくりシナリオ賞(2地区程度)(今回は2地区)

都市再生整備計画において、テーマの設定、まちづくりのアイデア、計画策定のプロセスの3つの観点から特徴があり、優秀な地区

第11回まち交大賞 受賞地区一覧

賞	地区名	受賞者	概要
まち交大賞 (国土交通大臣賞)	久慈浜地区	茨城県 日立市	「交通渋滞の緩和を図りつつ、自動車交通体系に過度に依存しない新たな交通体系の確立」という方針より、廃線となった日立電鉄線跡地に、定時性と速達性に優れた「BRT」を導入するため、歩道を併設したバス専用道を整備し、快適な市民の足が定着した。
まちづくり達成大賞 (まちづくり情報交流協議会会長賞)	守山中心市街地地区	滋賀県 守山市	教育文化施設や高齢者福祉機能が整備され、幅広い世代が共生できる環境が整い、まちづくり会社の精力的な活動により、ソフト事業が軌道に乗り新たな人の繋がりが生まれてきたことなど、ハード事業とソフト事業が上手く稼働し中心市街地の活気が戻りつつある。
創意工夫大賞 (都市みらい推進機構理事長賞)	明治百年通り周辺地区	秋田県 小坂町	江戸時代末期から金、銀、銅の採掘が行われてきた鉱山町であったが、鉱山閉山後は空洞化が懸念されてきた。町に残る近代化産業遺産の一つであり、既に廃線となった小坂鉄道の施設や車両群を活用し、地区のにぎわい創出と活性化を進めている。
まちづくり効果賞	半田運河蔵の街・ごんぎつねの里地区	愛知県 半田市	半田運河周辺道路の修景や半田赤レンガ建物の整備、新美南吉生誕100年の節目に合わせた記念事業や記念館のリニューアルを行い、車両系サインや観光案内板の整備による各施設同士の回遊性及び連携を高めながら、NPOや市民団体等の取組みの活性化を図った。
	下関駅にぎわいプロジェクト地区	山口県 下関市	官民一体となった交通結節点の強化と、行政主体ではなく、民間が主体となったにぎわいの創出を行い、シネコン、下関駅ビルの新設、下関大丸2階に新たな玄関入口の開口などから、既存の商業施設の入館者数が増加するまでに波及している。
	御船地区	熊本県 御船町	「御船町恐竜博物館」の移設整備や、“御船蔵屋敷”を活用した「街なかギャラリー」等、本町中心部の骨格であるシンボルロード沿道において、生活利便性向上と、町全体の活性化のけん引役としての集客性向上に向けた各種事業の展開を、町民との協働により実施した。
まちづくりシナリオ賞	乙川リバーフロント地区	愛知県 岡崎市	広大なスケールをもつ乙川の清流と豊かな水辺空間を活かし、歴史文化遺産である岡崎城と交通結節点の名鉄東岡崎駅、そして中心市街地へと新たな回遊性を生み出す、「川」から始まるまちづくりを展開している。
	歴史と伝統の感動おばま地区	福井県 小浜市	「小浜西組重要伝統的建造物群保存地区」や鯖街道の起点など、地域住民により歴史文化が保存・継承されてきた当地区では、地域の更なる魅力向上と誇りの持てるまちづくり、観光の推進に地域住民との協働で取り組んでいる。

第33回 まちづくり標語懸賞募集

1. まちづくり標語懸賞募集について

まちづくり標語懸賞募集は、まちの主人公である住民自身と自治体が共同しながら愛着と誇りのもてる「わがまち」をつくっていくための合言葉を募るもので、平成27年度は2,731通（一般の部2,424通、児童・生徒の部307通）の応募がありました。

なお、優秀作品については、平成28年度まちづくり月間のパンフレットに用いられます。

2. 第33回の募集について

国土交通省において、魅力あるまちづくりをすすめ、愛着と誇りのもてるわがまちをつくっていくため、まちづくりに関する様々な啓発活動を展開することとしております。

まちづくり標語においては、このことを受け、以下のとおり、募集を行いました。

これからのまちづくりでは豊かな生活の基盤となる、道路、公園、河川、下水道等を整備するだけでなく、コンパクトで暮らしやすいまちなか、自然とのふれあい、親しみのもてるみち空間、安全・安心にらせる環境、美しい都市景観と魅力あるまちなみ、にぎわう多様な交流の場などを整えていくことが求められています。

このまちづくりを、地域の特性を活かした個性と魅力のあるものとしていくためには、住民と自治体とが「わがまち」を見直し再発見し、両者の創意工夫を結集して、すすめていくことが大切だと考えられます。

このため、魅力あるまちづくりをすすめ、愛着と誇りのもてるわがまちをつくっていくための合い言葉を募集いたしました。

3. 主催等

主 催 : まちづくり月間全国的行事実行委員会

後 援 : 国 土 交 通 省

4. スケジュール

募 集 : 平成27年8月1日～平成27年11月30日

選 考 : 平成28年2月3日（木）

表 彰 : 平成28年6月10日（金）「すまい・るホール」（住宅金融支援機構内）

5. 審査委員

委員長 幸田 シャーミン（ジャーナリスト）

委 員 藤本 昌也（建築家）

柳島 康治（コピーライター）

石塚 孝（国土交通大臣官房審議官（都市局担当））

石田 優（国土交通大臣官房審議官（住宅局担当））

杉山 雅英（（公財）都市計画協会 業務執行理事）

第33回まちづくり標語懸賞募集 審査結果

一般の部

賞	作 品	作者氏名	住所
特 選	まちづくり 未来へつなぐ 物語	わたなべ よしゆき 渡辺 佳幸	愛知県岡崎市
準特選	ほっとする 地域パワーの 見える町	いとう ふみこ 伊東富美子	秋田県秋田市
入 選	わがまちへ 込めた愛だけ 増す魅力	さとう たかき 佐藤 隆貴	福島県南相馬市
入 選	人と街 いきいきつなぐ地域力	きつかわ ひろこ 吉川 弘子	神奈川県川崎市
入 選	四季の顔 持ってる街は 生きている	やまがた としお 山縣 敏夫	山口県岩国市

生徒・児童の部

賞	作 品	作者氏名	住所
特 選	おかえりと まっててくれる 良い町に	むとう ひとみ 武藤 瞳	東京都江東区
準特選	世代越え いきいき暮らせる 僕たちの町	こがわ かずや 古川 和哉	青森県八戸市
入 選	人が好き 自然好き やさしい街が もっと好き	ふくしま としあき 福島 敏明	埼玉県本庄市
入 選	町中を 緑と笑顔で 染めたいな	いながき りょう 稲垣 遼	東京都江東区
入 選	作りたい 笑顔の街と つながる輪	ふじた まい 藤田 真衣	東京都江東区

第11回 住まいのまちなみコンクール

1. 住まいのまちなみコンクールについて

身近な住環境は地域の方々によって維持管理され、安全、清掃、緑化、まちなみなどが保たれています。このようなコミュニティ活動が活性化していることは喜ばしいことですが、一方では敷地の細分化による密集化の進行、緑の減少など環境の悪化も見受けられます。今後、ますます住民や住民組織による維持管理活動の進展が望まれています。このような状況を踏まえ、維持管理活動に実績を挙げている住民組織をまちづくりのモデルとして表彰、支援するものです。

2. 主催・後援

[主 催] まちづくり月間全国的行事実行委員会、(一財)住宅生産振興財団、
(一社)すまいづくりまちづくりセンター連合会

[後 援] 国土交通省、独立行政法人住宅金融支援機構、独立行政法人都市再生機構、
(一社)住宅生産団体連合会、(公社)日本建築士会連合会、
(一社)日本建築士事務所協会連合会、(一財)ハウジング・アクト・コミュニティ財団

3. 事業実施経緯

[応募期間] 平成27年5月1日～平成27年8月31日

[審 査] 第1回 平成27年10月5日
第2回 平成27年12月14日

[審査委員]

委員長 藤本 昌也 (建築家/ (公社)日本建築士会連合会名誉会長)
委 員 上山 良子 (ランドスケープアーキテクト/長岡造形大学名誉教授・前学長)
大月 敏雄 (東京大学 教授)
北尾 靖雅 (京都女子大学 教授)
清水喜代志 (国土交通省大臣官房技術審議官)
杉藤 崇 (国土交通省大臣官房審議官)
森 まゆみ (作家・編集者) (五十音順/敬称略)

[発 表] 平成28年1月

[表 彰] 平成28年6月 (まちづくり月間期間内)

4. 審査結果

国土交通大臣賞・・・1団体

- 池田の森農園クラブ（エコロジー団地 池田の森）（静岡県静岡市駿河区）

住まいのまちなみ賞・・・4団体

- アップルタウン高田北街づくり組合（アップルタウン高田北）（福岡県糸島市）
- 一般社団法人舞多聞エコ倶楽部（ガーデンシティ舞多聞 みつつけ・みつつけ南プロジェクト）（兵庫県神戸市垂水区）
- かずさの杜ちはら台管理組合（かずさの杜ちはら台）（千葉県市原市）
- 石州街道・出口地区まちづくり協議会（石州街道・出口地区）（広島県府中市）

国土交通大臣賞

池田の森農園クラブ （エコロジー団地 池田の森/静岡県静岡市駿河区）

池田の森は、土地の所有者が開発の中心となり、農のある暮らしと居心地のよい空間づくりを実現しようとの取り組みで、開発理念が高く評価されました。2002年静岡市郊外のゴルフ練習場だった土地（1.3ha）を造成、中央部を農園として整備し、農園を介した風通しの良い安全なコミュニティをつくることを目指しています。その周辺には35区画の戸建て分譲地とアトリエ、美容院、パン屋などがあります。

2006年4月に池田の森農園クラブが農作業の参加者で組織され、野菜づくりの情報交換や収穫祭を開くとともに、良好なまちなみの維持・形成に努めています。さらに、池田の森全体が各戸の「界隈」となるように配置され、審査員からランドスケープの原点と称賛されました。



第18回 まちの活性化・都市デザイン競技

1. 主旨

これからのまちづくりにおいては、そこに生活し活動していることの豊かさが実感でき、誇りのもてる優れた景観を備えた環境整備が重要です。現代の活動にふさわしい新たな都市景観の形成には、まちの歴史や環境に配慮しながら、その都市固有の品格を備え洗練された表現と演出が求められ、そしてその魅力が都市に活力を呼び戻し、新たな賑わいを伴って、まち全体が活性化していくことが期待されます。こうしたまちづくりの基本的課題を踏まえ、本「まちの活性化・都市デザイン競技」は、地域にふさわしい整備構想とまちのデザインについての提案を広く一般から募り、まちづくりに対する国民の関心を高めるとともに、まちづくりの企画・デザイン技術の向上、活力ある美しい景観を備えたまちづくりの実現に寄与することを目的に平成10年度より毎年実施しているものです。

2. 競技対象地区

競技の対象地区は、全国公募に応募された候補地の中から、富山県富山市の「南富山駅周辺地区」(約79ha)を選定しました。

3. 競技課題

対象地区について、地区の賑わいを高め、地域全体を活性化するための拠点整備、回遊性の向上、良好な景観形成等を図るための様々なアイデアと都市デザインについて、その整備手法を含め募集しました。

4. 応募作品数

競技へのエントリーが43グループあり、最終的に提出された応募作品数は33作品でした。

5. 主催・後援

- (1) 主催 : まちづくり月間全国的行事实行委員会
(公財)都市づくりパブリックデザインセンター
- (2) 後援 : 国土交通省、富山市

6. 競技実施経緯

- (1) 応募登録期間 : 平成27年9月7日(月)～10月5日(月)
- (2) 作品提出期間 : 平成28年1月15日(金)～1月21日(木)
- (3) 審査 : 平成28年2月29日(月)
- (4) 表彰 : 平成28年6月10日(金)「すまい・るホール」(住宅金融支援機構内)

7. 審査委員

- 委員長 : 西村 幸夫 (東京大学教授)
- 委員 : 石川 幹子 (中央大学教授)
- 岸井 隆幸 (日本大学教授)
- 高見 公雄 (法政大学教授)
- 藤本 昌也 (建築家)
- 英直 彦 (国土交通省都市局市街地整備課長)
- 森 雅志 (富山市長)

(順不同)

8. 審査結果

審査の結果、次の通り各賞が選定されました。

○国土交通大臣賞(1点)・・・株式会社日建設計シビル、株式会社日建設計(足立 真一 ほか6名)

○まちづくり月間全国的行事实行委員会会長賞(1点)

・・・法政大学大学院デザイン工学研究科都市環境デザイン工学専攻(結城 直紀 ほか3名)

○(公財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞(1点)

・・・戸田建設株式会社(松永 彩 ほか1名)

○奨励賞(2点)

・・・神奈川大学大学院工学研究科建築学専攻(足立 将博 ほか1名)

・・・東京大学大学院工学系研究科社会基盤専攻景観研究室(小出ひかり ほか2名)

名)

○富山市長特別賞(1点)

・・・株式会社 森本組(水谷 祐司)

国土交通大臣賞 受賞作品

駅と暮らす -まちどまへ寄り添う道づくり-
足立真一 他6名 (株式会社日建設計シビル、株式会社日建設計)

駅と暮らす ~まちどまへ寄り添う道づくり~

南青山駅周辺の変遷と現状分析

●駅周辺の現状分析
南青山駅周辺は、戦後高度経済成長期に急激な宅地開発が進み、商業・住宅地が形成された。しかし、駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。

●駅周辺の現状分析
南青山駅周辺は、戦後高度経済成長期に急激な宅地開発が進み、商業・住宅地が形成された。しかし、駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。

提案方針

●駅周辺の現状分析
南青山駅周辺は、戦後高度経済成長期に急激な宅地開発が進み、商業・住宅地が形成された。しかし、駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。

●駅周辺の現状分析
南青山駅周辺は、戦後高度経済成長期に急激な宅地開発が進み、商業・住宅地が形成された。しかし、駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。

提案内容

●駅周辺の現状分析
南青山駅周辺は、戦後高度経済成長期に急激な宅地開発が進み、商業・住宅地が形成された。しかし、駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。

●駅周辺の現状分析
南青山駅周辺は、戦後高度経済成長期に急激な宅地開発が進み、商業・住宅地が形成された。しかし、駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。

通いみちについて

暮らしの中で最も利用する駅への「通いみち」
住んでいる人の目線でこれら道のあり方を考える

●駅周辺の現状分析
南青山駅周辺は、戦後高度経済成長期に急激な宅地開発が進み、商業・住宅地が形成された。しかし、駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。

●駅周辺の現状分析
南青山駅周辺は、戦後高度経済成長期に急激な宅地開発が進み、商業・住宅地が形成された。しかし、駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。

まちどまについて

●駅周辺の現状分析
南青山駅周辺は、戦後高度経済成長期に急激な宅地開発が進み、商業・住宅地が形成された。しかし、駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。

●駅周辺の現状分析
南青山駅周辺は、戦後高度経済成長期に急激な宅地開発が進み、商業・住宅地が形成された。しかし、駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。

事業スキーム・段階整備

事業スキーム	1期	2期	3期
駅前広場	完成	完成	完成
駅前ビル	完成	完成	完成
駅前公園	完成	完成	完成
駅前道路	完成	完成	完成

●駅周辺の現状分析
南青山駅周辺は、戦後高度経済成長期に急激な宅地開発が進み、商業・住宅地が形成された。しかし、駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。

●駅周辺の現状分析
南青山駅周辺は、戦後高度経済成長期に急激な宅地開発が進み、商業・住宅地が形成された。しかし、駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。駅周辺の開発は、駅舎と駅前広場の間に留まり、駅とまちの間に「壁」ができてしまった。